

JAFICA 未来に続くインテリアコンテスト 2022

～with コロナからの新しい暮らしのかたち～

アイデア部門応募シート

2022年度テーマ：新しい出会いの場

フリガナ	マツツ ミホ
応募者名	松津 見穂
<small>※グループの場合はグループ名</small>	
学校名 (学部・学科・コース・学年)	駒沢女子大学人間総合学群住空間デザイン学類 インテリアデザインコース
会社 (部署名)	
連絡先住所	埼玉県
携帯番号 <small>※日中連絡の取れる番号</small>	
メールアドレス <small>※添付書類が開けるアドレス</small>	
	<input type="checkbox"/> 未就学児 <input type="checkbox"/> 小学校低学年 <input type="checkbox"/> 小学校高学年 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input checked="" type="checkbox"/> 只学・専門 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> IC資格あり <input type="checkbox"/> IC資格なし

応募作品名
デアイマ ～人と人をつなぐ空間～

コンセプト (作品説明)

人と人をつなぐ空間"デアイマ"で地域に人と繋がるきっかけとなる住宅兼店舗をつくる。計画敷地は神奈川県川崎市上麻生4-2-2に設定した。敷地面積240.5㎡。最寄駅である新百合ヶ丘から徒歩10分の場所にある。敷地周辺には幼稚園や公園があり、車通りが少なく緑が多い。住宅に住むのは60代夫婦、店舗にあたるカフェは園児や園児の家族、公園利用者、地域住民をターゲットに設定した。お店を利用する人たちや住人との間に関わりを持たせつつ、住宅のプライバシーを確保するために、一階の店舗と住宅の間に"デアイマ"をつくった。時間的「合間」に訪れた人がこの「隙間」で「出会う」ことで新たなコミュニティの場になってほしいと考え、"デアイマ"と名付けた。床は黒御影石を敷き、壁と天井は遮音性・吸音性に優れた土壁で仕上げる。

夜間店舗正面のシャッターを下ろすことで住人だけのプライベート空間になる。日中、店舗は正面入り口と公園側の開口部が開いているため、東屋のように開放感がある。そのため外部にも雰囲気が伝わり、立ち寄りやすい。店舗入り口から"デアイマ"を見るとディスプレイ部分が少し折れ曲がって、突き当たりの緑が見え隠れする。少し折れ曲がった"デアイマ"は奥に進みたくなる。"デアイマ"を通り抜けた先の坪庭を眺めるベンチでのんびりしてもよし。三角ディスプレイに住人の趣味のものを飾り、住人と店舗利用客の利用客同士でおしゃべりしてもよし。心地よい風が通り抜ける"デアイマ"はみんなが思い思いに過ごすことのできる空間だ。

「間」の門構えを残し、「日」の部分を押出す

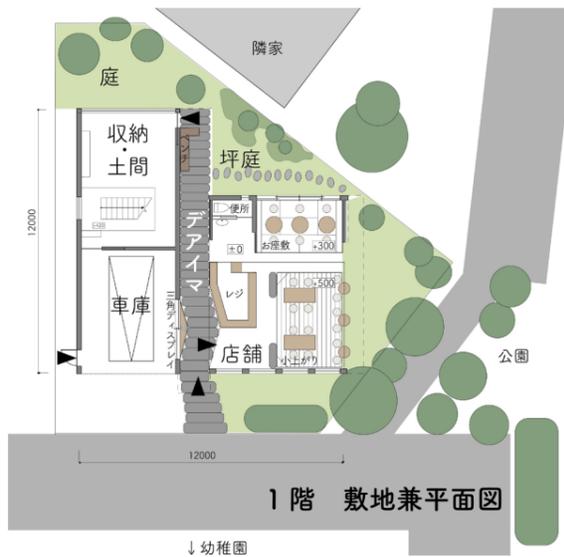


作品掲載 (6枚以内)



床：御影石 真っ直ぐな空間ではないからこそ気になるデアイマ

ベンチ、お座敷、ウッドデッキの小上がり・テラス席 いろいろな居場所がある



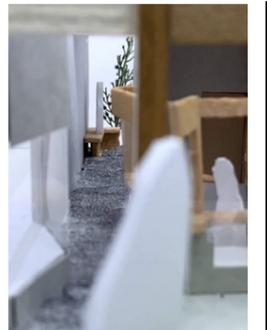
↓幼稚園



2階 平面図



大きな道路や小道から人々が集まる



デアイマを店舗入口から見る



南方向から店舗を見る



上から見た店舗とデアイマ (左)

【応募作品の権利について】 応募作品の著作権は応募者に帰属します。ただし入賞作品の発表・掲載に関する権利は主催者が保有し

【個人情報の扱いについて】 提出された個人情報は適切に管理し、承認なく第三者に開示、提供いたしません。